

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【公表番号】特表 2020-500860 (P2020-500860A)

【公表日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2019-527882 (P2019-527882)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/747 (2015.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/99 (2017.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

A 6 1 K 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 K 35/745 (2015.01)

A 6 1 K 35/744 (2015.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/747

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/99

A 6 1 K 31/045

A 6 1 K 31/047

A 6 1 K 31/14

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 11/02

A 6 1 K 35/745

A 6 1 K 35/744

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

皮膚の細菌の天然バランスを回復させるための消毒組成物であって、

0.005 重量% ~ 15.0 重量% の、ラクトバチルス、クロストリジウム、サッカロ
マイス、ラクトコッカス、ペディコッカス、エンテロコッカス、エシェリキア、アルカリ
ゲネス、コリネバクテリウム、バチルス、プロビオニバクテリウムの株およびそれらの組

み合わせからなる群から選択されるプロバイオティック由来成分；

少なくとも一つの高分子増粘剤；および

少なくとも50重量%の、消毒効果をもたらす一つ以上の成分を含み、

前記プロバイオティック由来成分を含まない別の同一の消毒組成物と比較して、皮膚への病原体結合を統計的に有意な量で減少させる、消毒組成物。

【請求項2】

消毒効果をもたらす前記一つ以上の成分が抗菌成分である、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項3】

前記抗菌成分が、アルコールおよび四級アンモニウム化合物のうちの一つ以上から選択される、請求項2に記載の消毒組成物。

【請求項4】

消毒効果をもたらす前記一つ以上の成分が、消毒組成物の総重量に基づいて、70重量%を超える量で存在する、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項5】

前記プロバイオティック由来成分が、パチルス発酵物である、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項6】

前記消毒組成物の総重量に基づいて、0.05～5.0重量%の前記プロバイオティック由来成分を含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項7】

前記消毒組成物が一つ以上の皮膚コンディショニング剤をさらに含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項8】

前記一つ以上のスキンコンディショニング剤が、プロピレングリコール、ヘキシレングリコール、1,4-ジヒドロキシヘキサン、1,2,6-ヘキサントリオール、ソルビトール、ブチレングリコール、カプリリルグリコール、プロパンジオール、メチルプロパンジオール、ジプロピレングリコール、トリエチレングリコール、グリセリン（グリセロール）、ポリエチレングリコール、エトキシジグリコール、ポリエチレンソルビトール、カプリル酸／カプリン酸グリセリル、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される一つ以上の湿潤剤を含む、請求項7に記載の消毒組成物。

【請求項9】

前記消毒組成物が一つ以上の詰まり防止添加剤を、前記消毒組成物の総重量に基づいて、最大20.0重量%の量でさらに含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項10】

ミリスチン酸セチル、セチルミリストレート、セチルエステル、セバシン酸ジイソプロピル、ミリスチン酸イソプロピル、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される一つ以上の保湿エステルをさらに含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項11】

前記保湿エステルが、前記消毒組成物の総重量に基づいて、最大10.0重量%の量で存在する、請求項10に記載の消毒組成物。